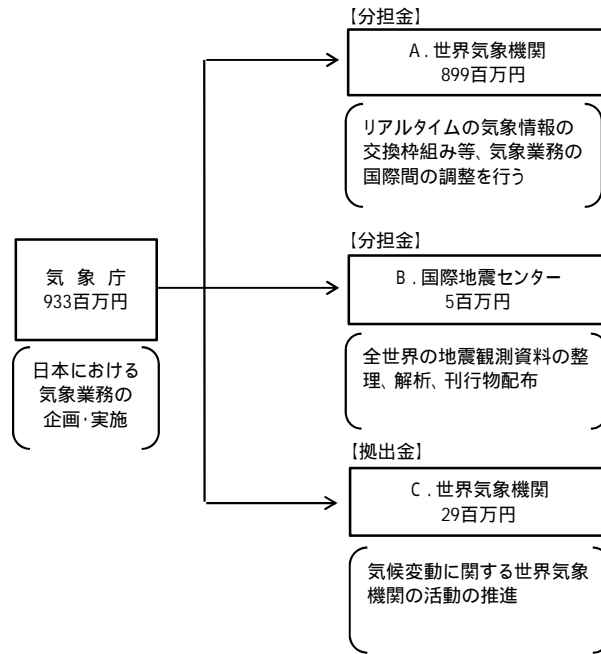


平成23年行政事業レビューシート (国土交通省)

事業名	国際機関への分担金・拠出金		担当部署	気象庁総務部 気象庁地震火山部		作成責任者	
事業開始・終了(予定)年度	S31～		担当課室	企画課 管理課		課長 関田 康男 課長 上垣内 修	
会計区分	一般会計		施策名	10 自然災害による被害を軽減するため、気象情報等の提供及び観測・通信体制を充実する			
根拠法令 (具体的な条項も記載)	気象業務法第1条 世界気象機関条約第24条他		関係する計画、通知等	-			
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	気象業務に不可欠な気象業務の分野における国際協力を維持発展させるため。						
事業概要 (5行程度以内。別添可)	世界気象機関(WMO)は、気象・水文の観測・予測、データ交換等に関する組織・システムの確立・維持、技術基準の統一、それら業務遂行に係る加盟国の能力向上等についての国際協力及び科学技術活動を推進しており、我が国を含む各国気象水文機関が行う防災・交通安全・産業の交流を支援する業務の円滑な運営には不可欠なものである。 国際地震センター(ISC)は、全世界の地震観測データを収集して、統一基準に基づく解析により全球地震活動データセットを作成し、各国の地震業務や研究を行う機関に提供している。長期間にわたり均一・高品質な本データセットは、長期地震活動などの正確な把握や研究活動を支えるものである。						
実施方法	直接実施	業務委託等	補助	貸付	その他		
予算額・執行額 (単位:百万円)		20年度	21年度	22年度	23年度	24年度要求	
	予算の状況	当初予算	1039	1025	933	688	760
		補正予算	0	0	0	0	
		繰越し等	0	0	0	0	
		計	1039	1025	933	688	760
	執行額	1039	1025	933			
執行率(%)	100.0%	100.0%	100.0%				
成果目標及び成果実績 (アウトカム)	成果指標		単位	20年度	21年度	22年度	目標値(年度)
	本分担当、拠出金は、各国気象機関が集まる国際会議の場で、議論・交渉のうえ決定されるため、我が国のみで成果目標及び成果実績(アウトカム)を定めて支出する性格のものではない。		成果実績	左記事情により空欄	左記事情により空欄	左記事情により空欄	左記事情により空欄
			達成度	%	左記事情により空欄	左記事情により空欄	左記事情により空欄
活動指標及び活動実績 (アウトプット)	活動指標		単位	20年度	21年度	22年度	23年度活動見込
	本分担当、拠出金は、各国気象機関が集まる国際会議の場で、議論・交渉のうえ決定されるため、我が国のみで指標を定められる性格のものではない。		活動実績 (当初見込み)	左記事情により空欄	左記事情により空欄	左記事情により空欄	左記事情により空欄
				左記事情により空欄	左記事情により空欄	左記事情により空欄	左記事情により空欄
単当たりコスト	本件はWMO、ISCという組織の運営費の一部を分担する目的で支出するものであり、単あたりのコストで効果を計るには経費の性格上なじまない。		算出根拠	左記事情により空欄			
平成23・24年度予算内訳	費目	23年度当初予算	24年度要求	主な増減理由			
	世界気象機関等分担金	634	701	・為替レートの変動による増 42百万円			
	政府開発援助世界気象機関分担金	26	29	・世界気象機関分担金の総額引き上げによる増 30百万円			
	世界気象機関拠出金	28	30				
	計	688	760				

事業所管部局による点検			
	評価	項目	特記事項
目的・予算の状況		広く国民のニーズがあり、優先度が高い事業であるか。	
		国が実施すべき事業であるか。地方自治体、民間等に委ねるべき事業ではないか。	
		不用率が大きい場合は、その理由を把握しているか。	
資金の流れ、費目・用途		支出先の選定は妥当か。競争性が確保されているか。	
		単位あたりコストの削減に努めているか。その水準は妥当か。	
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	-	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。	
活動実績、成果実績		他の手段と比較して実効性の高い手段となっているか。	
		適切な成果目標を立て、その達成度は着実に向上しているか。	
		活動実績は見込みに見合ったものであるか。	
		類似の事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担となっているか。	
		整備された施設や成果物は十分に活用されているか。	
点検結果		<p>気象の予報には、世界中の気象データを迅速に集めて、その変化を予測する必要があるため、各国の気象機関はリアルタイムに国際的なデータ交換を行うことが必要である。このためには、国際機関による多国間の調整を行うのが効率的である。現在、各国気象機関は、世界気象機関の定めた技術基準に沿って気象等の観測と予測のデータを交換している。これによって得られるデータは我が国気象庁にとっても、気象予報の精度維持・向上のために不可欠なものである。</p> <p>平成22年6月に開催されたWMO執行理事会において、我が国の分担率の引き下げが決定され、平成23年度予算に反映された。世界気象機関については、引き続き、事務局に対し効率的な運営を求めている。国際地震センターについても、総会等を通じて事業の更なる効率的な運営を求めている。</p>	
予算監視・効率化チームの所見			
現状通り		<p>世界気象機関分担金の分担率の引き下げを行った。</p> <p>引き続き、世界気象機関の事務局等に対して積極的に関与し事業の効率的な運営を求め、コスト削減に努める。</p>	
上記の予算監視・効率化チームの所見を踏まえた改善点(概算要求における反映状況等)			
<p>為替レート変動等による増額。</p> <p>平成23年5月から6月にかけて開催された世界気象会議の場において、世界気象機関の事務局に対して事業の効率的な運営を求めた結果、コスト削減を継続的に追及し、また、支出を注意深く監視していくことを事務局に求める旨が会議文書に明記された。</p>			
補記 (過去に事業仕分け・公開プロセス等の対象となっている場合はその結果も記載)			

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を
行っているかについて補足
する)(単位:百万円)



費目・使途
 (「資金の流れ」
 においてブロック
 ごとに最大の
 金額が支出され
 ている者につい
 て記載する。費
 目と使途の双方
 で実情が分かる
 ように記載)

A.			E.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
分担金	世界気象機関分担金	899			
計		899	計		0
B.			F.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
分担金	国際地震センター分担金	5			
計		5	計		0
C.			G.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
拠出金	世界気象機関拠出金	29			
計		29	計		0
D.			H.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0

支出先上位10者リスト

A.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1					
2					
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					